



1. 新日下川放水路工事完成式典 2. ロックボルト専用機を使用した打設状況 3. 機械改良型スリップフォーム工法によるインバート打設状況

新日下川放水路工事 概要

- 所在地 高知県高岡郡日高村～吾川郡いの町
- 施設管理者 国土交通省四国地方整備局
- 設計者 いであ(株)
- 施工者 鹿島建設(株)、熊谷組・大豊建設特定建設工事共同企業体
- 関係者 協拓建設(株)、(株)タカハシ工務店、(株)ガイアート、日特建設(株)
- 着工日 2018年1月17日
- 竣工日 2023年7月31日



詳細や他の写真などは左記の二次元コードからWebページにアクセスしてご覧ください。

本工事は以上の様々な取組みを通じて、工期短縮、安全性確保、周辺環境への影響軽減を高いレベルで実現させるとともに、放水路のインフラリズムへの活用など、地域との密接な連携も図られており、防災インフラ整備の模範的事業として日建連表彰土木賞に値するものと認められた。

新日下川放水路工事

受賞理由

高知県日高村を貫流し仁淀川に注ぐ日下川では、河床勾配が三〇〇〇分の一と緩いことから洪水による浸水被害が過去から頻発しており、放水路や遊水地などが整備されてきた。本工事は、二〇一四年台風一二号豪雨による甚大な浸水災害の翌年に採択された床上浸水対策特別緊急事業として、日下川に三本目の放水路を新設したものである。新放水路は総延長五、三六八メートルのトンネル構造であり、県による河川改修や日高村による輪中堤の整備や水害に強いまちづくり条例の制定などとの連携による流域治水の根幹となる事業である。

本工事では、付加体の地山に長く狭隘な放水路トンネルを効率的に施工するため、四切羽での同時施工を行い、フルオートコンピュータ

ジャンボによる掘削や、ロックボルトの全自動打設システムや引き抜き試験機の開発、機械改良型スリップフォーム工法によるインバートコンクリート施工、更に交差部や坑口部の複雑構造部でのARの活用など、様々な機械化・自動化・IT化を推進して安全性の向上、人員削減、工期短縮を実現している。また、坑内外シームレス位置検知システムの導入や、重機や車両への自動停止装置や接近警報装置の設置など、狭隘なトンネル内での安全性確保のための対策が取られている。

更に、施工中においても事業効果を発揮させる施工中通水を実施すべく、その課題や対策を検討し、資機材の退避基準や各種手続きなどを定めたタイムラインを作成して訓練を実施した。実際に施工期間中の台風接近時には資機材及び作業員を退避させるなど、対策の効果が確認されている。

土木賞

土木賞は、募集の前年末までに概ね竣工した土木分野のプロジェクト・構造物を対象に、事業企画、計画・設計、施工、及び維持管理などに関する総合評価により選考を行います。選考に当たり、特に、施工プロセスの視点（施工プロセスの改善、良質な社会資本の効率的創出、土木技術の発展・伝承など）を重視しています。

日建連表彰2024



第5回土木賞